

令和2年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

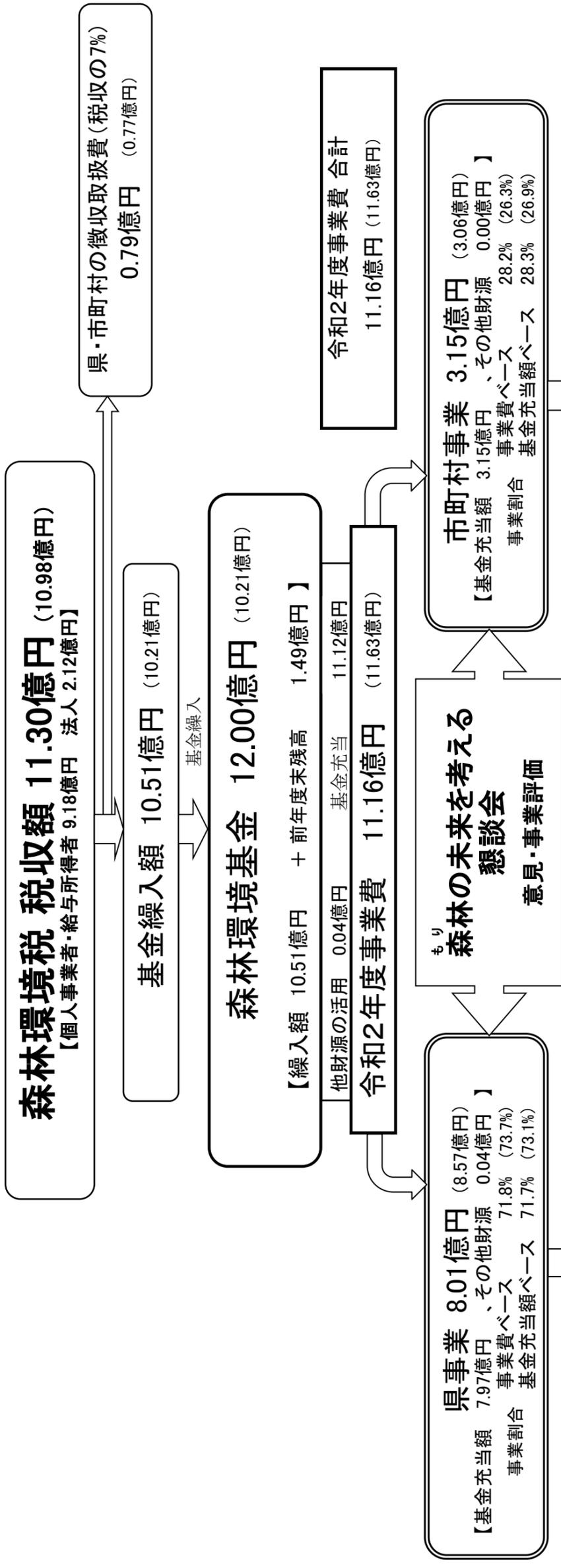
令和2年度森林環境基金事業の 実施について

- 令和2年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)
- 令和2年度森林環境基金事業の概要について
- 令和2年度森林環境基金事業(新規・拡充)の概要

令和2年8月25日

福島県農林水産部森林計画課

令和2年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)



<p>森林環境を保全するための事業 717,281千円 (793,805千円)</p> <p>1 森林環境の適正な保全 518,921千円 (591,120千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 里山林の環境整備 施業集約化を促進するための支援 森林クラウドの運用 <p>2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 198,360千円 (202,685千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 間伐材の搬出・運搬支援 森林整備を促進するための路網整備 木質バイオマス利用促進 CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR 公共施設の木質化と木育活動の推進 木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 地域に適した技術の継承による森林資源の活用 	<p>森林づくりの意識を醸成するための事業 84,106千円 (63,202千円)</p> <p>4 県民参画の推進 66,339千円 (47,649千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習に必要なフィールドの整備 指導者の育成や森林ボランティアセンターの運営等 森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 県立学校における森林環境学習等 幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 ふくしま植樹祭の開催 <p>5 ふくしまの森林文化の継承 10,513千円 (10,371千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 森林文化を活用した地域再生 <p>6 森林環境の調査 5,238千円 (1,400千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林の公益的機能の調査と発信 <p>7 森林環境基金の運営 2,016千円 (3,782千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林の未来を考える懇談会の開催 タウンミーティング・県民アンケートの実施 	<p>森林環境を保全するための事業 111,197千円 (112,867千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 111,197千円 (112,867千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 	<p>森林づくりの意識を醸成するための事業 204,077千円 (193,587千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 204,077千円 (193,587千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
---	---	---	---

※()書きの金額及び割合は令和元年度当初予算

令和2年度森林環境基金事業の概要について

1 森林環境の適正な保全

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(1)	森林整備事業	飲料水の「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域内で行う森林整備を支援する。 ・森林整備事業 419,892千円 間伐1,353ha 作業路改良2,442m ・森林資源造成支援事業 45,511千円 再造林、樹下植栽 40ha 一貫作業システムによる再造林 12ha	465,403	482,060	△ 16,657
(2)	里山林整備事業	地域住民が行う人々の生活圏等と野生動物の生息地の間の緩衝帯等の整備や放置された危険な枯損木等を整理し森林環境を整えることを支援して、野生動物との共生と被害の抑制を図るとともに、里山林の環境を整え住民の森林づくりへの意識醸成を推進する。 ・里山林整備事業 35,594千円 環境整備 89ha 補助金 400千円/ha上限	35,594	31,000	4,594
(3)	森林整備地域活動支援交付金事業	森林の適切な整備を通じて、森林の有する多面的機能の継続的な発揮を図るとともに、森林施業・経営の集約化を図る観点から、主として林業事業体や森林所有者が森林経営計画の作成を行うために必要な活動を支援する措置として、市町村へ森林整備活動支援交付金を交付する。 ・森林整備地域活動支援交付金事業 200ha 6,245千円	2,082	2,110	△ 28
(4)	森林環境適正管理事業	情報の共有化や業務の効率化を図るため、森林情報を電子データ化した各種図面上で管理することを可能にしたふくしま森林クラウドシステムの運用を開始するとともに、県民向けの森林情報を発信する「ふくしま森まっぷ」の運営を継続する。 ・森林情報(GIS)活用推進事業 11,679千円	(11,679)	(71,730)	(△ 60,051)
	計		514,758	(591,120)	(△ 72,199)

※上段()は、国庫(基金)を含む事業費

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(5)	間伐材搬出支援事業	間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備に要する経費を支援する。 ・林内作業路整備支援事業 26,400千円 事業量 52,800m 補助金 500円/m	26,400	31,150	△ 4,750
(6)	森林整備促進路網整備事業	水源区域など重要な森林の継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため耐久性のある作業道の整備を支援する。 ・森林整備促進路網整備事業 12,600千円 事業量 3,000m 補助金4,200円/m以内	12,600	18,900	△ 6,300
(7)	ふくしまの低炭素社会づくり推進事業	地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。 ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業 (ストロー100台、二酸化炭素削減支援40,000t) 45,624千円 ・ふくしま木の家・担い手応援事業 3,000千円 ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業 (県産木材住宅 一般20万P 被災者等30万P 森林認証材利用加算10万P) 50,000千円	98,624	101,632	△ 3,008
(8)	【拡】もともっと木づかい推進事業	公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等により、県民の木材利用に対する意識を醸成するとともに、民間施設における県産材利用の拡大を図り、低炭素社会の実現に資する。 ・木景観形成促進事業 5,000千円 ・木材製品需要拡大技術導入事業 6,100千円 ・【新】県産材サブライチェーン構築支援事業 25,100千円	56,236	46,503	9,733
(9)	地域林業技術伝承事業	地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。併せて、優良な技術を県内に広く普及させるため林業研究グループ活動を支援する。 ・地域林業技術伝承事業 3件 3,000千円 ・林業研究グループ交流促進事業 7グループ 1,500千円	4,500	4,500	0
	計		198,360	202,685	△ 4,325

3 市町村が行う森林づくり等の推進

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(10)	森林環境交付金事業	県民一人ひとりが参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができよう、森林環境基金の一部を交付する。 ・森林環境基本枠 204,077千円 ・地域提案重点枠 111,197千円	315,274	306,454	8,820
	計		315,274	306,454	8,820

4 県民参画の推進

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(11)	【拡】花粉の少ない森林づくり事業	森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。 ・花粉の少ない森林づくり推進事業 苗木養成 1,000本 台木植栽500本 1,208千円 ・【新】花粉症対策品種等種子確保対策事業 1,326千円	2,534	1,585	949
(12)	林業普及推進事業	森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。	1,200	1,200	0
(13)	森林環境学習の森整備事業	森林環境の重要性、林業の役割について学習するためのフィールドや未来につなぐ森林づくりの理念を発信する拠点を整備し、広く情報発信を行う。 ・森林学習フィールド整備事業 県民の森 2ha/年(獣害被害の安全対策) 3,879千円 ・全国植樹祭記念の森整備等 1,127千円	5,006	4,627	379
(14)	【拡】森林づくり総合対策事業	県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、子どもの里山学習の支援、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。 ・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業 森林ボランティア団体支援数 8団体、指導者育成数 35名 等 14,997千円 ・【拡】みんなで支えよう森森元気事業 3,259千円 (【新】子ども里山教育支援事業を含む)	18,256	14,625	3,631
(15)	県立学校における森林環境学習推進事業	県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動経費を支援する。 9校	2,500	2,500	0
(16)	ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業	震災や原子力災害発生以降の森林の現状に対する理解を深めつつ、森林づくり運動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と森林づくり活動の推進を図る。 ・森林環境情報発信事業 10,035千円 ・若者の森林自己学習支援事業 5グループ 1,650千円	(11,696) 11,685	(17,017) 17,007	(△ 5,321) △ 5,322
(17)	森林・水循環推進事業	健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。	2,017	2,464	△ 447
(18)	エコ七夕事業	未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成をするため、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。実施園数 100園、県庁七夕 1園、もりの案内人派遣 12園	3,130	3,631	△ 501
(19)	【新】ふくしま植樹祭開催事業	第69回全国植樹祭を契機に高まった県民の森林づくりへの意識を一過性で終わらせずに将来へ引き継ぐとともに、震災からの復興していく福島県の元気な姿を全国へ発信するため、本県独自の植樹祭を開催する。 ・ふくしま植樹祭開催事業 20,000千円	20,000 (66,339) 66,328	0 (47,649) 47,639	20,000 (18,690) 18,689
	計				

※上段()は、その他の財源を含む事業費

5 ふくしまの森林文化の継承

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(20)	ふくしまの森林文化 継承事業	県内の森林文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化について調査し、県民に分かりやすい形で広報するとともに、一般県民の体験等に対する支援を行う。 ・ふくしまの森林文化継承事業 5,167千円 ・木(森)に由来する伝統文化継承事業 5,346千円	10,513	10,371	142
	計		10,513	10,371	142

6 森林環境の調査

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(21)	【拡】森林環境等調査発 信事業	県民が森林や木材にふれあう動機付けを行い森林づくり意識の醸成を図るため、木材の良さの発信及び「森林づくりの提言」を踏まえた森林環境教育の支援に取り組む。 ・【拡】森林環境教育支援調査発信事業 (【新】森林環境教育支援調査発信事業を含む)	5,238	1,400	3,838
	計		5,238	1,400	3,838

7 森林環境基金の運営

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
(22)	森林環境基金運営事業	森林環境基金の適正な執行と透明性を確保するため、公募委員等からなる「森林の未来を考える懇談会」を開催し、事業に対する意見や事業の評価などを行うとともに、令和3年度以降の制度のあり方について、検討を進める。	2,016	3,782	△ 1,766
	計		2,016	3,782	△ 1,766

森林環境基金事業合計

(単位:千円)

No	事業名	事業の概要	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
		1~7の合計	(1,116,661) 1,112,487	(1,163,461) 1,140,157	(△ 46,800) △ 27,670

※上段()は、その他の財源を含む事業費

● 森林資源は収穫期を迎えており、大径材（末口径30cm以上）は増加するが、その用途は少なく、価格も低迷している。
 →非住宅建築物や海外輸出へ向けた、大径材の需要拡大に繋がるサプライチェーンの取組を公募、支援する。

支援内容：①大径材の運搬経費支援、②大径材の製品一次加工(乾燥等)経費支援

事業効果：①大径材の生産意欲の向上、②製品の品質確保による付加価値の向上

★ 支援対象となるサプライチェーンの想定パターン（※ 同一の取組に対する支援は最長3年間。継続提案については補助単価を漸減。）

① 素材生産業者、一次加工を行う製材工場及び製品加工工場がサプライチェーンを構築する場合

安定供給取引協定

（4者協定、木材市場を経由しない計画の場合は3者協定）

素材生産業者
 (運搬経費を支援)



木材市場
 (放射線検査を実施)



製材工場(一次加工)
 (乾燥等加工費を支援)



製品加工工場
 (最終)



都市部等(非住宅建築)
 または海外輸出



放射線検査を実施
 (木材市場を経由しない場合)



② 素材生産業者及び一次加工から製品製造までを行う製品加工工場がサプライチェーンを構築する場合

安定供給取引協定

（3者協定、木材市場を経由しない計画の場合は2者協定）

素材生産業者
 (運搬経費を支援)



木材市場
 (放射線検査を実施)



製材(一次加工)→
 製品加工工場(最終)
 (乾燥等加工費を支援)



放射線検査を実施
 (木材市場を経由しない場合)



都市部等(非住宅建築)
 または海外輸出



花粉症対策品種等種子確保対策事業

森林整備課

- 人工交配
花粉症対策品種等の採種園・採穂園が本格的に稼働するまでの間、花粉症対策品種の種子を確保するため少花粉スギの採穂台木等を活用した人工交配を実施する。
- カメムシ防除対策
中通り・浜通りに供給するため整備しているスギ特定母樹ミニチュア採種園についてカメムシを防除し種子発芽率の低下を防ぐため、採種木に袋かけを実施する。
- 特定母樹採種台木用苗木養成

特定母樹の供給量拡大に向け、特定母樹採種園造成が可能な認定特定事業者に対して、採種園造成時に必要となる採種台木を配布するために、苗木の養成を実施する。

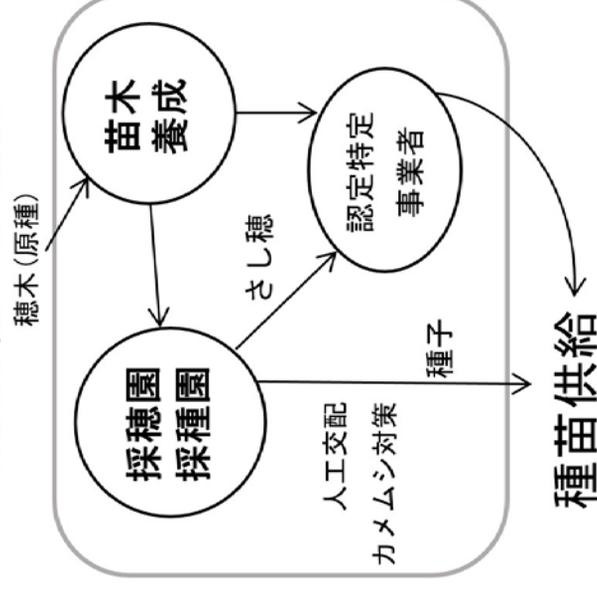


袋かけによるカメムシ防除対策



少花粉スギミニチュア採種園

特定母樹・少花粉



みんなで支えよう森森元気事業(子ども里山教育支援事業)

〈事業の目的〉

「継続的な森林環境教育・学習・活動の推進」(森林づくりの提言 令和元年10月3日)

- 幼少期から成人、高齢の参加者に至るまで広い世代が参加する森林づくり意識醸成活動を推進するためには、それぞれの世代に即した森林環境教育・学習、森林環境活動を提供することが重要である。
- 「危険を理解し、森を楽しむ」という認識を広め、森林づくりは大切という認識を身に着けるため、幼稚園児や保育園児及び保護者などを対象として、取り組むことが必要である。

子ども里山教育支援事業

県内各地の幼稚園で実践活動

- 県内幼稚園で里山教育の実践
- 里山教育の実践を通じた効果や課題等の整理

活動内容の検討及び里山教育情報提供

- 実践活動や既存活動など事例による内容検討
- 里山教育についての事例を含む情報提供

既存事業活用も含めた様々な支援

効果

里山教育への理解促進

各幼稚園における里山教育の実践

里山教育の場の創出

- ・里山教育を行う幼稚園の増加

里山教育者の育成及びスキルアップ

- ・活動を実践できるスキルを有した幼稚園教諭の増加

里山教育に取り組む幼稚園同士の情報交換

- ・実践者や専門家との交流による新たな発見や悩みの解消

目標

幼少期における森林づくり意識醸成活動の推進

第69回全国植樹祭ふくしま2018

復興のシンボルイベント

<開催理念>

- ・ 県民参加の森林づくりを推進します。
- ・ 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指します。
- ・ 大会開催を契機として、本県の復興・発展を加速する原動力とします。
- ・ 県内外の多くの多くの方が参加できるようにします。
- ・ 国内外からの支援に対する感謝と復興に向けて強く歩み続ける福島を広く発信します。

<大会コンセプト> 「ふくしまから発信する森林づくり」

千年に一度の大災害から復興した海岸防災林を会場に、植樹活動による人と人とのつながり、ふるさとへの思い、未来への希望を国内外に発信する、被災地において初めての大会。

※森林づくりの機運を更に高めます

開催理念を継承

ふくしま植樹祭 ~ABMORI~

未来の子どもたちの
希望の森林づくりイベント

8

<大会の趣旨>

第69回全国植樹祭の開催理念を引継ぎ、ふるさと再生への思いを込めた植樹活動を行い、未来へつなぐ希望の森林づくりを発展させるため開催する。

<大会のコンセプト> 「未来につなぐ希望の森林づくり」

未来を担う子どもたちに、美しいふるさとを継承するため、希望あふれる未来への思いを苗木に込め、県内外の多くの方々との植樹活動を通じて創り出す希望の森林づくり(いのちを守る森)づくり(ABMORI)により、福島との共感の輪を広げていく。

<大会の目的>

- 未来を担う子どもたちが、緑豊かな森林の中で動植物とのふれあいや、自然環境を学べる森林づくりを行います。
- 震災の記憶と教訓を次の世代につないでいくため、ふるさと繁栄への思いを込めた森林づくりを行います。
- 県内外から多くの方々に、来て、見て、福島の元氣な姿を実感していただき、復興支援への感謝の気持ちを発信します。

森林環境等調査発信事業（森林環境教育支援調査発信事業）【新規】

■ 森林環境教育支援調査発信事業（森林環境等調査発信事業）

【目的】

「森林づくりの提言」における具体的取組の一つである「継続的な森林環境教育・学習・活動の推進」の実現に向けて、「森林・林業を多面的・総合的に捉え、学校教育の中で子供たちに分かりやすく説明できる副読本などの教材の提供を積極的に検討する必要がある」とされた。

このため、教育現場で活用できる指導案や教育資材の制作に向け、他県における教育資材等の導入状況や、県内の教育機関の森林環境教育に関するニーズ等を調査した上で、教育関係、森林づくり指導者等からなる委員会により教育資材方針を取りまとめる。

また、後年度には、この方針により指導案や教育資材を作成し、県内学校等に配布し、森林環境教育の実践を目指す。

■ 森林環境教育支援調査発信事業の概要

次の業務について委託し実施する。

【森林環境教育支援調査業務委託】

- ① 他県の教育資材導入状況、県内の教育機関の森林環境教育に関するニーズを調査

〔調査内容〕 教育機関の実態を踏まえた森林環境教育に関する意見や要望

〔調査エリア〕 全国及び県内（7 方部各 1 回程度）

- ② 教育資材方針のための検討委員会運営

〔構成〕 学識経験者及び教育関係者、森林づくり指導者等からなる委員会

〔委員数〕 5 名程度 〔開催回数〕 4 回程度

- ③ 方針の取りまとめ

教育資材方針（編集コンセプト、内容・構成上の特色、判型、ページ数、作業手順）を作成する。

【「森林づくりの提言」における森林環境教育の位置づけ】

